

令和7年3月

優郷の学び舎  
世田谷区立弦巻小学校  
学校運営委員会 委員長 久米 朋子 殿  
学校長 福留 修一 殿

学校関係者評価委員 委員長  
大澤 光治

## 令和6年度 学校関係者評価委員会報告書

世田谷区立弦巻小学校学校関係者評価委員会では、更によりよい教育活動が展開されるよう、外部アンケート（共通項目・独自項目）及び学校自己評価点検をもとに、本年度の教育活動全般を評価し、次年度の改善に向け、本報告書を作成しました。学校及び学校運営委員会に報告致します。

### 1. 評価資料概要

#### 【学校関係者アンケート】

- 対象 保護者・児童（5, 6年）・地域
- 調査実施日 令和6年11月1日（金）～11月15日（金）

Webによるアンケート

- 回答数 児童 250件（昨年度212件）  
保護者 416件（昨年度338件）  
地域 15件（昨年度21件）

#### 【学校自己評価点検（教職員アンケート）】

- 対象 本校全教員

### 2. 学校関係者評価考察

#### ①「かしこい子ども」の育成について

まず「学ぶことが楽しい」と児童の75%が感じていることは良いと思う。25%の児童については、学ぶ楽しさを実感するような働きかけを継続してもらい、できるだけ多くの児童が学ぶ楽しさを感じ取ってほしい。

区の進めているキャリア教育については、先生が「子どもに学習のめあてを理解させてから指導している」という項目が高いことから区の施策を進めてくださっていることが分かる。その反面、児童アンケート「自分の生き方や将来について授業で考える68.0%」、保護者アンケート「生き方や将来について考える授業をしていると考える41.2%、分からない41%」とあるように、学校の取り組みが十分に伝わっていないと見受けられる。学校としての取り組みをより一層、児童に自覚させたり、保護者に伝えていったりすると良いのではないかと思う。

## ②「やさしい子ども」の育成について

児童は「クラスだけでなく、他の学年の人と仲良くする」という項目で85%の肯定的な評価をしている。委員会やクラブ、行事、たてわり活動などの異学年で関わる機会を設けている弦巻小の教育活動によるものだと思う。保護者アンケートの「(自分の子どもは)異学年の子供同士で遊ぶことがある」が63%ということから、現在では放課後、異学年で遊ぶ機会が少なくなっていることが想像できる。学校では、是非、学年を超えた交流を継続していったらいい。

学校のきまりを守って生活している児童が88%という高い数値であることから、学校という集団生活の場で、みんなが安心して楽しく生活するために、学校のきまりが必要だということを児童がきちんと認識していることが分かる。また、先生に注意されたことは理解できると答えた児童が92%と高いことから、教師が一方的に指導するのではなく、一つ一つ丁寧に指導していることもうかがえる。ただ、教員のアンケートの中で「なかなか思い通り指導できない」と感じている先生もいることがアンケートから読み取れる。経験の浅い先生や弦巻小学校に赴任されたばかりの先生に向けて、なぜそのようなきまりが必要なのか、先生方で共通認識できるような工夫があると、どの先生も同じような指導ができるのではないだろうか。

## ③「たくましい子ども」の育成について

外での運動というところで見ると、教師は「児童は進んで外で遊んでいると感じている」と思っている一方、学校の休み時間に外で遊ぶと回答した児童が60%、放課後や休日に外で体を動かして子どもは遊んでいると答えた保護者が62.7%だった。これらの結果から、楽しみながら運動するような機会(例えばなわとび週間とか)や運動するきっかけとなる何かを設定し、活動の選択肢を増やしてあげるということも工夫できるのではないだろうか。

健康な体をつくる重要な側面として、食育も必要である。好き嫌いなく食事をしていると回答した児童が71.6%、教員も日々の給食指導で、給食の好き嫌いがある児童が少し多いと感じている。また保護者も子どもの食べものの好き嫌いがあると52.9%が回答している。

無理強いして給食を食べさせる必要はないと思うが、給食は栄養バランスを考えて調理されているので、楽しく給食の時間を過ごしながらか、少しずつでも色々なものを食べられるようになると良いと思う。現在は多様な食文化があり、児童によっては食べ慣れていないため敬遠しているものもあるかと思う。食に興味や関心がもてるように、今学校で行っている食育の取り組みを継続してほしい。

以上である。課題としていくつかあげさせていただいたが、児童アンケート全般で「楽しい」という言葉が多くみられたことは大変うれしいことである。それは弦巻小学校の教職員の皆様が本当に児童のために思い、良くやってくださっているからだと思う。来年度についても引き続き継続した取り組みをお願いしたい。